

<島原市第2回セミナー開催概要>

- 開催日時：令和7年2月21日(金)19:00-21:00
- 実施方法：オンライン開催
- 受講者数：106人（最大接続人数）
（受講者の属性を記載）
- セミナープログラムは次の通り

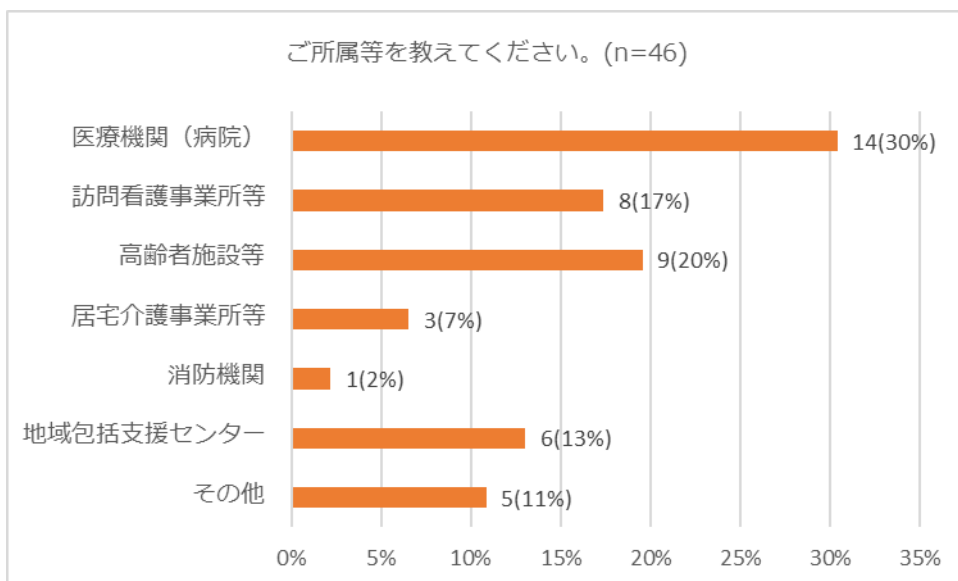
島原市第2回在宅医療・救急医療等の連携セミナー 兼第35回「在宅医療サークル」

日時：2025年2月21日(金)19:00-21:00

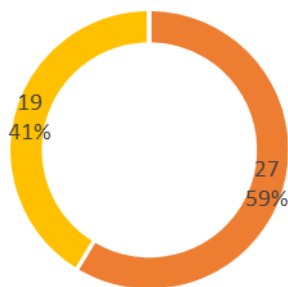
プログラム	
1	19:00- 開会
2	19:05- 行政説明 「DNAR（蘇生処置拒否）の意思表示がある場合の消防署の対応について（急変時）」 島原地域広域市町村圏組合 島原消防本部
3	19:15- 行政説明 「在宅医療・介護連携における島原市の取組と課題について」 島原市福祉保健部福祉課
4	19:35- グループワーク 在宅医療と救急医療の連携体制の構築について
5	20:45- 総評・まとめ

配布資料	
●	レジュメ(本資料)
●	資料1 DNAR(蘇生処置拒否)の意思表示がある場合の消防署の対応について(急変時)
●	資料2 在宅医療・介護連携における島原市の取組と課題について
●	資料3 グループワークについて

■ 受講者アンケート結果



セミナープログラム全体の感想を教えてください。(n=46)



- とても参考になった
- 参考になった
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった

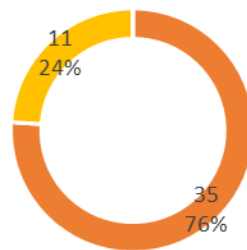
1つ前の回答を選択された理由、ご意見等を教えてください。(自由記載回答)

- 知らないことも多く知ることが出来た
- 色々な立場からの意見を聞くことができたから。また初めて知ることあつて勉強になりました。
- いろいろな意見が聞けたこと。現場の声が一番わかりやすいと感じた
- 今まで考える機会がなかったので良い機会になりました
- いのちのカプセルやもしもノートなどを知ることが出来て良かった。
- 違う職種の方の意見を聞いて良かった。
- 色々な職種の方の意見を聞いたため
- もしもメモの活用や、ACPの周知等、勉強になりました
- 救急の対応がどうされてるかわかって、連携がとりやすいと思った。
- 他職種の意見をきけた
- グループワークで、他の方の意見がとても参考になった。
- 救急の現場の話が聞けたのと、総評が参考になりました。
- DNARなど今まで知らなかった事を知れたことや、島原市の課題、今後どういう対策をしていくかについての理解が出来たから。
- もしもメモを広報することで最終段階はどうしたいかを知ることができるがCPAの搬送を減らすことには難しいと思います。
- 救急の活動状況がわかりやすかった。
- もしもメモなど自分があんまり知られなかった情報が分かったから
- 島原の現在地が理解できた
- 救急搬送時の現状と問題点が分かりました
- 色々な職種の方の意見を聞くことで視野を広げることが出来たから
- DNARの意思表示がある場合の消防署の対応が良くわかった
- 消防本部警防課：救急搬送状況がわかった プロトコルを調べる機会になった 市役所：課題が具体的にあげられて再確認できた

1つ前の回答を選択された理由、ご意見等を教えてください。(自由記載回答)

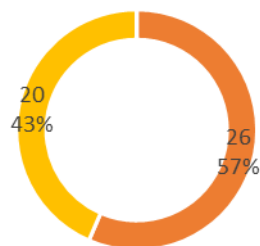
- 島原市の現状や課題を知り、参加者で検討ができたため
- 救急隊の動きの実際が把握でき勉強になった。グループワークでも他職種の意見が聞くことができてよかった。
- 島原市の現状と取り組み内容をわかりやすかった
- 今までに無かった知識や意見を新たに知る事が出来て良かった。
- DNARの意思表示が、あるかたへの対応の実際についてしることができた

行政説明「DNAR（蘇生措置拒否）の意思表示がある場合の消防署の対応について(急変時)」の感想を教えてください。(n=46)



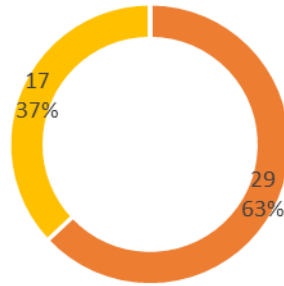
- とても参考になった
- 参考になった
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった

行政説明「在宅医療・介護連携における島原市の取り組みと課題について」についての感想を教えてください。(n=46)



- とても参考になった
- 参考になった
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった

グループワークについての感想を教えてください。(n=46)



- とても参考になった
- 参考になった
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった

1つ前の回答を選択された理由、ご意見等を教えてください。(自由記載回答)

- 職種ごと視点が様々でした
- 色々な立場の意見が聞けた。
- 他職種の方の意見が聞けて参考になりました
- 消防署の対応はなかなか知ることが出来ない内容だったため、学びになりました。
- それぞれの立場からの意見が聞けてよかった。
- 色々な視点からの意見があったため。
- いろいろな職種の意見が聞けた
- グループメンバーの意見も参考になりましたし、自分の意見を発言することによってさらに考えを進めていくきっかけになったと思います
- 他事業所の意見が聞けた
- 心肺蘇生中止の際に主治医との連絡が必要と初めて知った
- 日頃は、研修会に医師の参加は少ないが、今回は多かった様な感じでした。訪問診療はされない先生であっても緊急時連絡がつくようになる体制や文書に DNAR の確認を記入するなどの協力が得られたら良いなと思いました。支援する皆で共有する必要があると確認出来たグループワークだったと思います。
- 薬局での取り組みの実態がわかりました。
- 皆さんと色々意見交換ができた。
- 他職種の方と意見交換が出来たから。
- 救急車の CPA 搬送が多いことを知りました。
- 現場での意見が聞けてよかった。
- 個人個人の考え方が、あり考え方は無限大にあると思った
- ACP に対する考えを共有できた
- それぞれの職種の意見が聞けて良かったです
- 他職種の意見を聞けて良かった

1 つ前の回答を選択された理由、ご意見等を教えてください。(自由記載回答)

- 多職種でグループが組まれており様々な立場からの意見交換ができたため
- テーマのとらえが自分自身にとって難しかった
- 救急のかたがどのように活動し、本人の意思を伝えるためには、医師との連携が不可欠であることもわかった。そのうえで、市の課題を踏まえ、グループワークで課題や解決策の検討ができたため
- 各職種の考えや困りごとを共有できた点
- 「もしもメモ」など初めて聞く言葉もあり少し戸惑いましたが、自分の仕事に活かせるようにもっと勉強しなければなと思いました。
- 各職種で捉え方の違いあると感じた。意見交換することで理解深まった

セミナーに参加して、自地域において今後どのように取り組んでいこうと感じましたか。また、自地域のどのような課題に活用可能だと感じましたか。(自由記載回答)

- 今後他職種連携が密に必要であると感じました。
- もっと ACP についてのツールを周知し、それをきっかけに家族間で ACP について話す機会を持ってほしい。
- 自分の周りから APC 広げていきたい。
- 色々な職種と連携し、幅広い年代に広報が必要と感じました。
- 訪問先で、命のカプセルや、もしもメモが活用されているかの確認をして、推奨していきたい
- 在宅医療をしている医師は休みがとりにくいですが連携によってその問題が解決できるようにすれば在宅に参入する医療機関や医師が増えないか考えてみたい。
- ACP を若い世代から活用
- 自身の周りにいる方に、セミナーの話をする事から始める。少しずつが大きな一歩になると思えます。
- 連携のために役割分担が必要。どの分野でどの関係者がどこまでやるか、など。細やかな関係協議が必要。
- もしもメモは上手に活用しなければ、ならないと思います。
- やはり ACP の理解促進をして行くことが重要だなと感じました。若い世代小学生年代から ACP についての授業や、職域での研修などを行い少しずつ浸透させていく事が大事だなと思います。
- ターミナル期、高齢者の方には担当者会議等で最終段階を話し合うこともできると思いました。
- 色々な便利アイテムがあるので、少しずつでも周知ができればと思いました。
- 地域でも、人間関係があつてこそだと感じたのでコミュニケーションを大切にして、周りとの協力を疎かにしないように感じた
- もしもメモを広める
- ACP の周知を含め、薬局で出来ることを常に考えて行こうと思いました
- 情報収集、他スタッフ間との情報共有が大切だと思った。
- 取り組み：当事者や家族の把握 活用：地域にどんなルールが合うか再確認する

セミナーに参加して、自地域において今後どのように取り組んでいこうと感じましたか。また、自地域のどのような課題に活用可能だと感じましたか。(自由記載回答)

- いただいた意見をもとに、今後 ACP の普及の方法や ACP 「もしもメモ」 の活用方法を在宅医療・介護連携の会議で検討しながらルール化をしていきたい。
- やはり半島内や県内の共通の ACP ツールなどがあればいいのかなと感じましたが、まずはもしもメモを市民にも周知すること、そのように普及していけばいいかなど検討することがあるなと感じました。
- 各専門職が ACP についての統一した知識を深めることが大切。専門職間の顔の見える関係づくり。
- 家族様との情報共有など活発にやり取りが出来る環境があると良いな思いました。
- ACP の普及啓発の継続が必要と感じた。元気なうちから一般住民への周知が必要と感じた

在宅医療・救急医療等の連携に関して、どのような内容のセミナーを受講してみたいですか。(自由記載回答)

- 小児の在宅医療・救急医療
- 在宅医療にかかわる職業の人が自分の家族を介護して/看取りをして感じたことを聞いてみたいです。
- 他所での ACP の活用について
- 上手くいった事例、上手くいかなかった事例を聞いて、島原バージョンを作りあげたいですね。孤独死が多いと聞いてなんとかしたいと思っています。
- 高齢者の独居、身内がいない、遠方という方は身元がわかるものを携帯してほしいと思います。また独居の方の在宅訪問はよく聞きますが 引きこもりの方や高齢者の年金を頼って暮らしている方の寄り添いも必要ではないかと感じています。
- 今は思いつきません。今後ありましたらお願いします
- 見取りについての医療連携
- 在宅医療を選んで、在宅で看取りを行った方の思いや体験談を聞いてみたい。
- 在宅医療をになっている方の型を分類しその方々別に医療介護の連携 (例) ガン末期 老衰 認知症入院を拒む方
- 島原は半島が 3 市で構成されているが、保険者も救急も広域であるので、連携や統一するためのセミナーを受講してみたい。
- 在宅看取り支援について
- 対面で実際に命のカプセルや、もしもメモなど直接見て説明を受けられる場があれば嬉しいです。